

審査委員

樞密顧問官

河合

操

樞密顧問官

石塚

英藏

樞密顧問官

清水

澄

樞密顧問官男爵林

權助

樞密顧問官

荒木寅三郎

樞密顧問官

松浦鎮次郎

樞密院議長男爵平沼騏一郎殿

昭和十三年三月五日立案

書記官長



主筆

書記官



書記官



遞信省官制中改正ノ件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ遞信省官制中改正ノ件ヲ審

査スルニ本件ハ今般昭和十二年法律第四十四

號日本無線電信株式會社法中改正法律ニ依リ

従前ノ

國際電話株式會社ト合併シテ

日本無線電信株式會社ハ國際電氣通信株式會

スルコトナリ

右兩會社合併手續ノ完了ヲ俟ケテ

社ト改稱セヨ同法律ハ本年三月十二日日本

ヨリ之ヲム

無線電信株式會社ガ國際電話株式會社ト合併

シテ國際電氣通信株式會社ト改稱セラルルト

同時ニ實施セラレントスルニ付茲ニ遞信省官

△施行スルコトナリ

本件ヲ以テ

現行規定

制中ニ改正ヲ加ヘ遞信大臣ノ所管事項及同省

電務局ノ分掌事項ヲ規定セル條項中日本無線

理

ニ於テ

電信株式會社トアルヲ國際電氣通信株式會社

ト爲サントスルモノナリ乃チ本件ノ改正ハ法

關係

律ノ改正ニ^一基^一才^一當然ノ整理ニ過ギザルキ^一ニ
シテ別ニ支障ノ虞ナキニ由リ此ノ儘之ヲ可決
セラレ然ルベシト思料ス

右謹デ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十三年三月五日


書記官長


議長宛

相
密
院

明治三十三年三月五日立案

書記官長 

主筆 書記官 

書記官 

明治四十一年勅令第5號在南滿洲帝國領事館
附警務官、開スル件廢止、件 審至報告

謹テ今回御諮詢ノ明治四十一年勅令第5號在南滿

洲帝國領事館附警務官、開スル件廢止、件ヲ

附
密
院